

海外安全対策情報 (2018年7～9月)

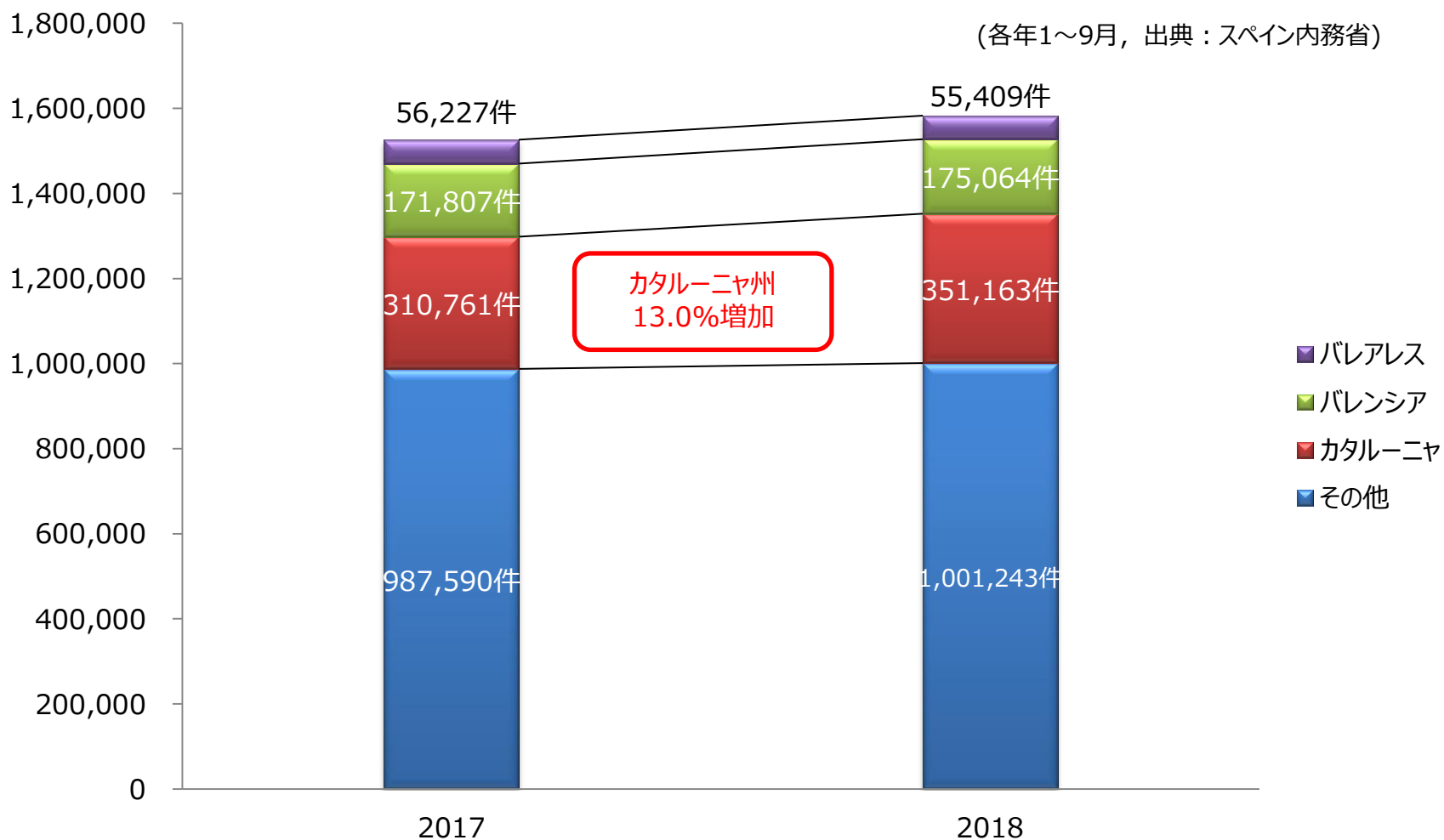
在バルセロナ日本国総領事館

1 社会・治安情勢

- サンチェス社会労働党政権発足後、同政権はカタルーニャ州政府との「対話」路線を打ち出しているが、同州政府の独立方針に変更はなく、今後も州内各地で抗議デモ、道路封鎖等が突発的に実施される可能性がある。
- 全国的には犯罪発生件数は微増。州別の犯罪発生件数は、カタルーニャ州、バレンシア州で増加、バレアレス州は減少。
- 手口別では、カタルーニャ州は「性犯罪」、「侵入窃盗」等、バレンシア州とバレアレス州は「性犯罪」、「薬物犯罪」等が増加。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

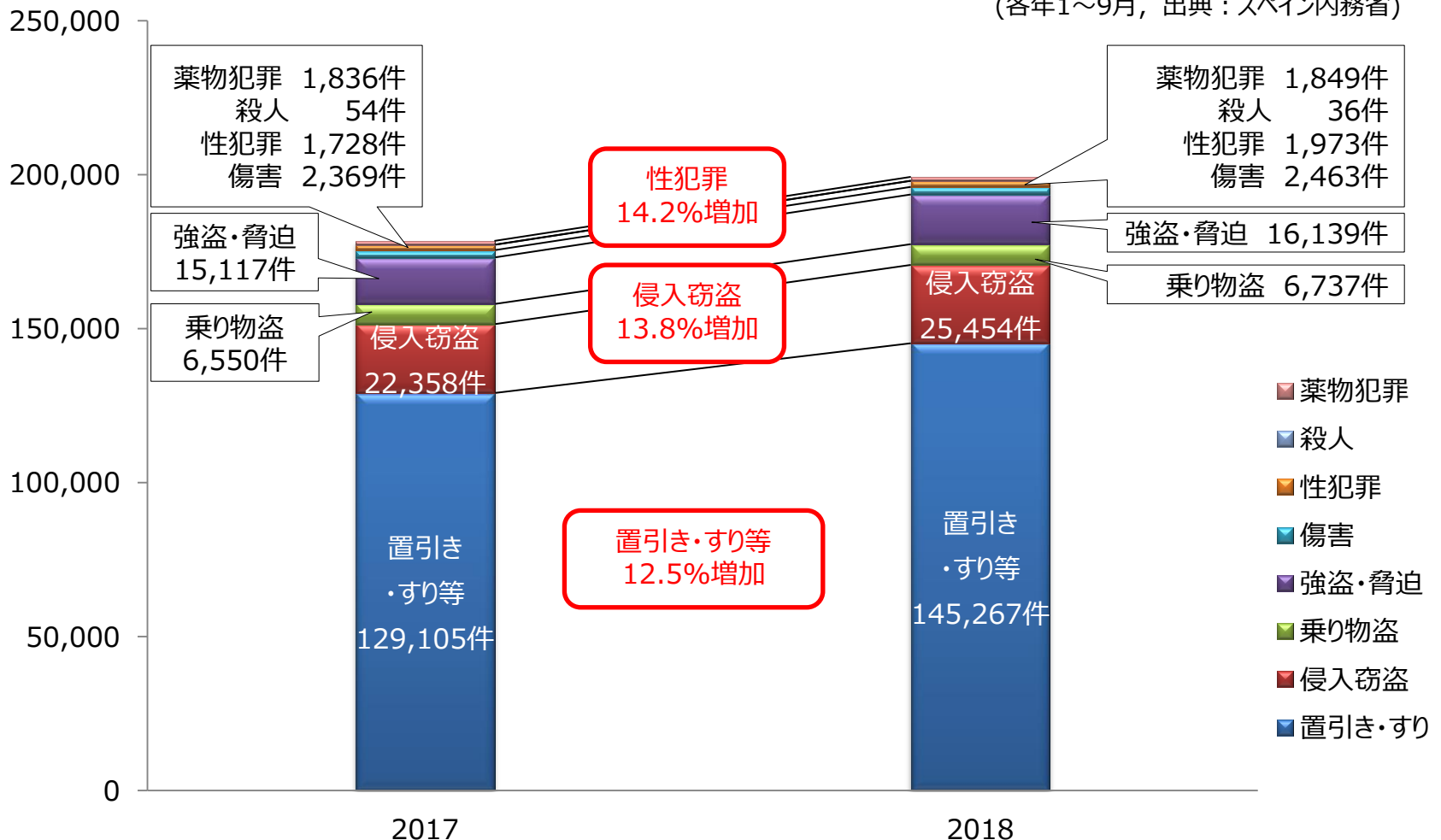
(1) 管轄3州とその他の州の犯罪発生件数推移



2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

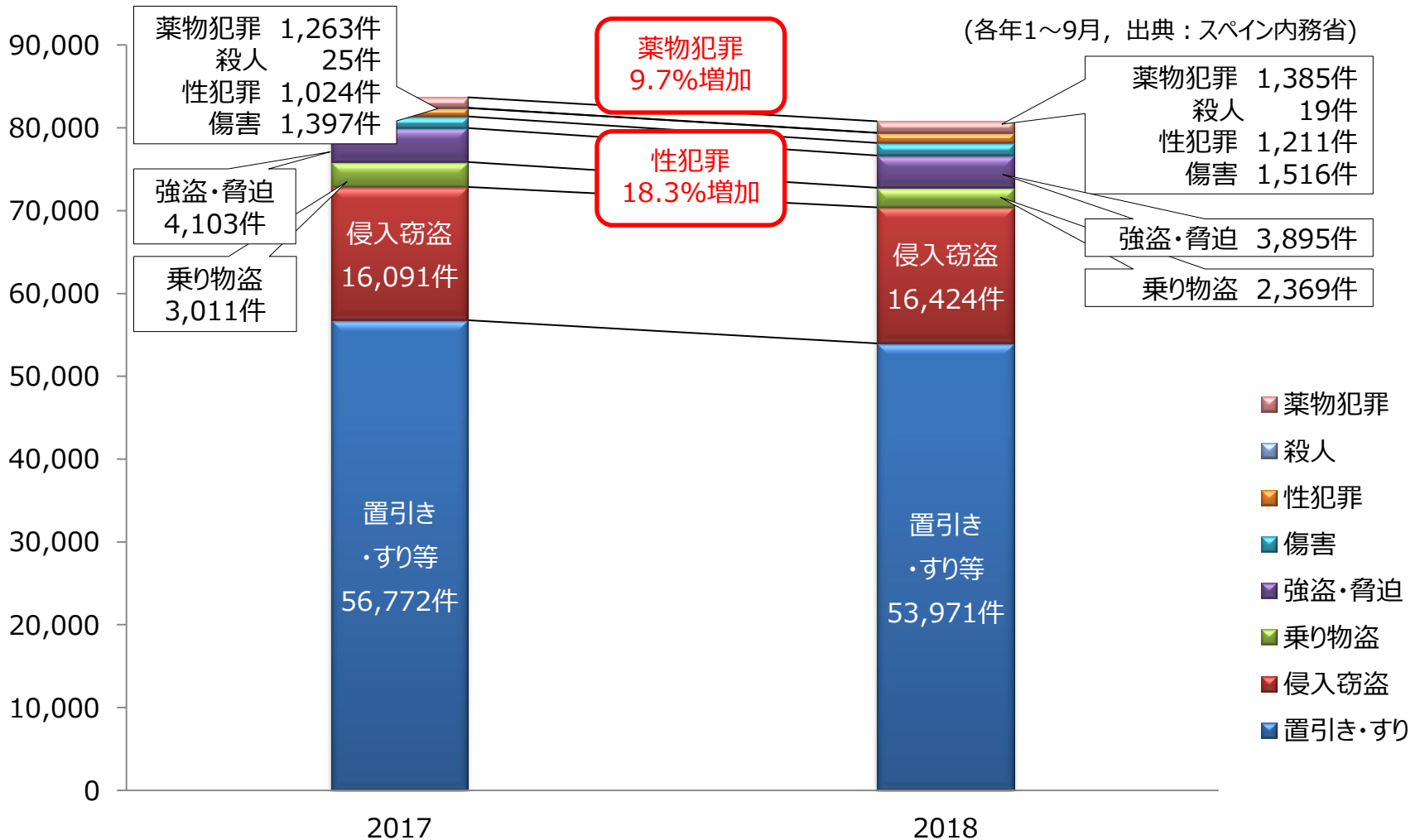
(2) カタルーニャ州の主な犯罪発生件数

(各年1~9月, 出典: スペイン内務省)



2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

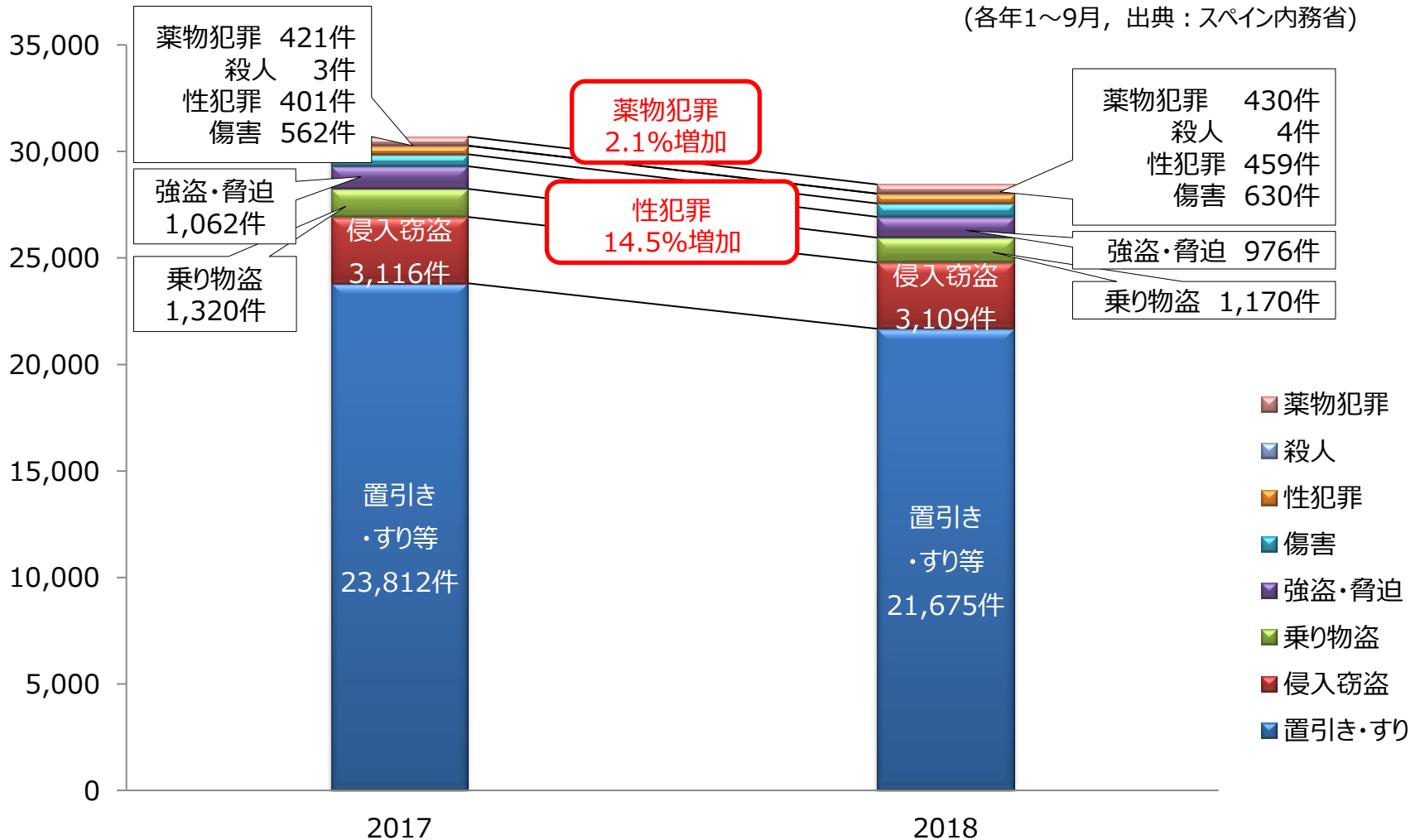
(3) バレンシア州の主な犯罪発生件数



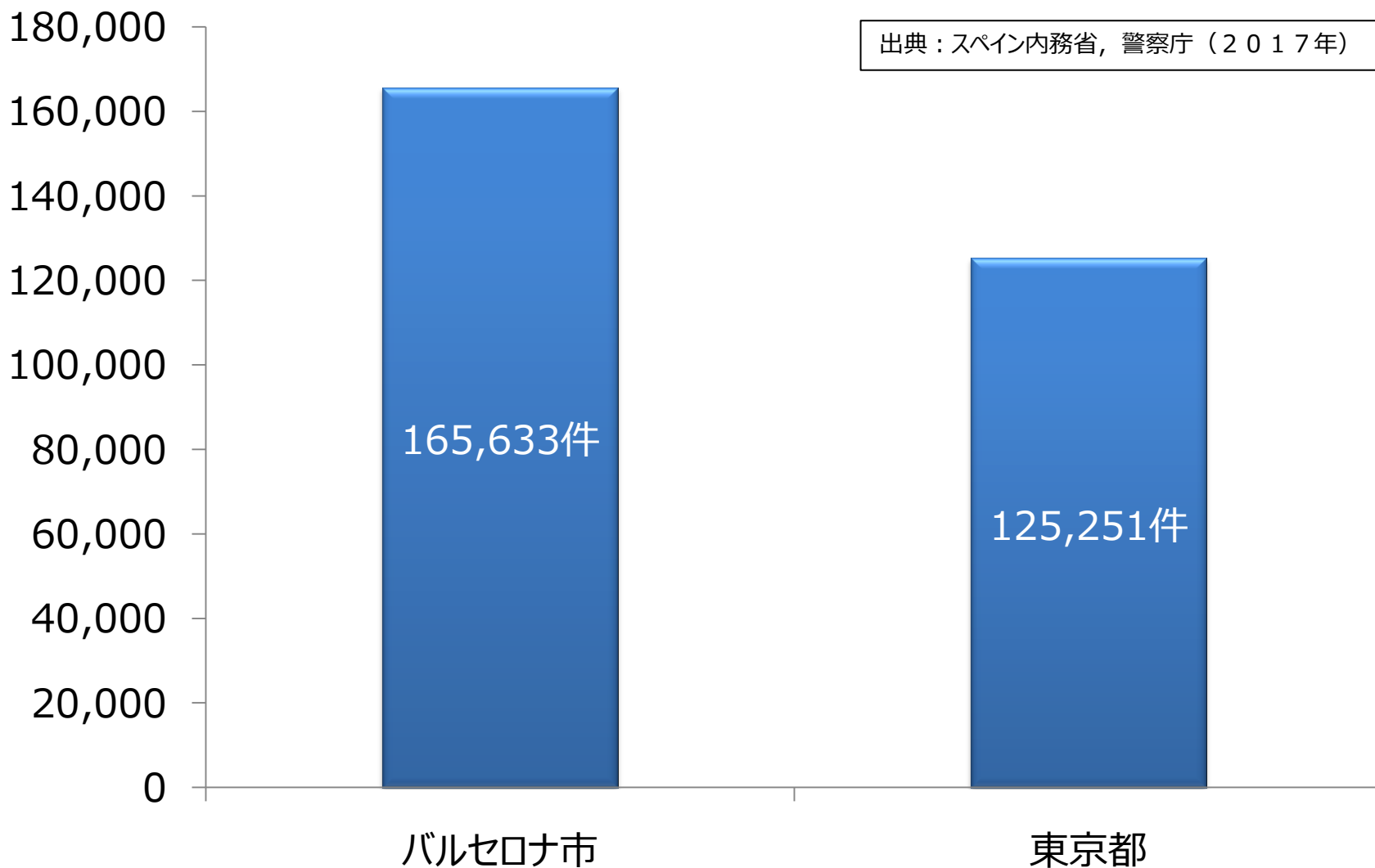
2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(4) バレアレス州の主な犯罪発生件数

(各年1~9月, 出典: スペイン内務省)



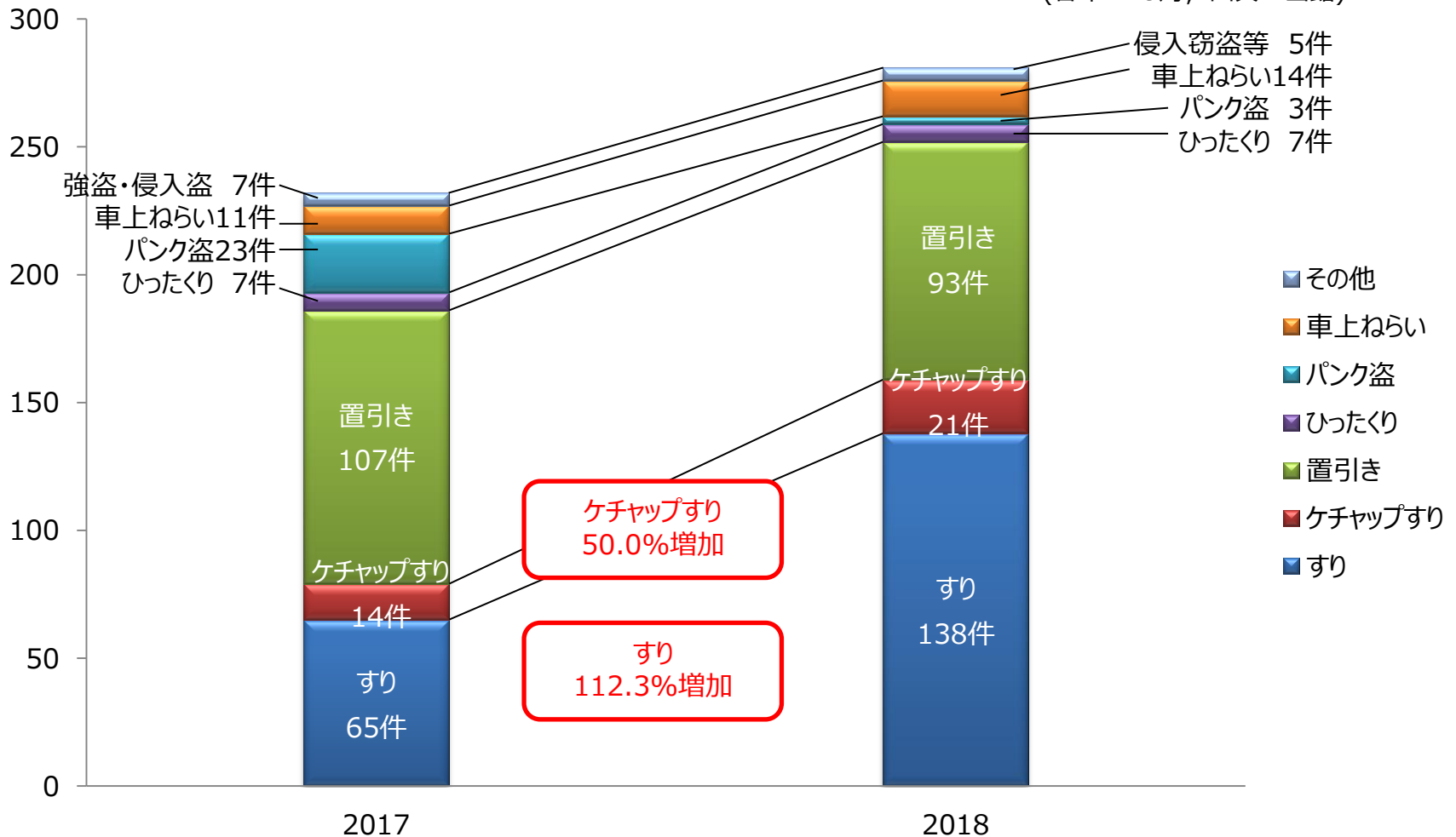
【参考】バルセロナ市と東京都の 犯罪発生件数比較（2017年）



3 邦人犯罪被害 (1) 手口別被害件数

手口別被害件数

(各年1~9月, 出典: 当館)



3 邦人犯罪被害

(2) 2018年7～9月の被害例

- 地下鉄や路上で、リュックサック等の中から金品を盗まれた（すり）
- ホテルでチェックイン中、バッグ等を盗まれた（置引き）
- サグラダファミリア付近のファストフード店で、2人組の男女が紙を見せながら声をかけてきて、対応中に隣の席に置いていたバッグを盗まれた（置引き）
- カフェやレストラン等で、隣の席や足下に置いていたバッグ等を盗まれた（置引き）
- サンパウ病院付近、サンツ駅やカタルーニャ広場で液体をかけられ、拭いている間にバッグ等を盗まれた（ケチャップすり）
- 空港のレンタカー会社駐車場で、レンタカー会社を装った男に声をかけられ、対応中にバッグ等を盗まれた（車上ねらい）

3 邦人犯罪被害

(3) 被害に遭わないために

- 旅券や財布等は上着の内ポケット，防犯加工されたポーチに入れる等して携行する
- リュックサック等に旅券や財布等を入れない
- 荷物は体の前で持つことを心がける
- チェックイン時等は，荷物を体の前に置く
- 汚物等をかけられても荷物等を手放さない
- 降車する際は必ずドアロックをし，旅券や財布等の貴重品を持って降車する
- 当館HP掲載の防犯動画を確認する

4 テロ・爆弾事件発生状況

- 2017年8月17日，バルセロナ市ランブラス通り等において車両突入型のテロが発生し，多数の死傷者が発生
- 2018年8月22日，コルネヤ・デ・ヨブレガット警察署において，刃物を所持した状態で「アラアは偉大なり」と叫びながら同署出入口に近づいた男性に対し，警察官が発砲し，同男性が死亡する事案が発生
- 国内のテロ警戒レベルは依然として「レベル4（高い脅威）」が維持され，テロ警戒及び治安強化が継続
- 人混み等を歩く際は，周囲の状況に目を配るなどの注意が必要

5 誘拐・脅迫事件発生状況

- 邦人被害の事件は認知していない

6 日本企業の安全に関する諸問題

- 特段確認されていない